

令和2年1月

令和2年度使用教科書の採択および採択理由について

西武学園文理小学校

令和2年度使用教科書の採択および採択理由について、下記のとおり公表します。

教科	発行者	採択理由
国語	光村図書	「漢字の広場」や「季節の言葉」の単元が設定されており、年間を通して、語彙習得のための工夫がなされている。説明文および物語文の学習の最後に関連する内容の書籍が紹介されており、自然と手に取って本を読みたくなるような工夫がなされている。「たいせつ」のコーナーでは、「話す・聞く」「書く」「読む」の各技能別のポイントが示され、理解を深めることができる。
書写	東京書籍	「見つけよう」⇒「たしかめよう」⇒「生かそう」という学習の流れにより文字の形の原理原則を、児童自ら発見できるように工夫されている。連絡帳やノートの書き方、新聞の書き方などの学習単元があり、日常生活や学校生活全般の学習活動に活かせる工夫がなされている。
社会	東京書籍	「つかむ」⇒「調べる」⇒「まとめる」⇒「生かす」の一連の流れによって学習が進めやすい。「学び方コーナー」に書かれていることが、新聞作りや資料作りの参考となり、使いやすい。歴史の裏話やエピソードが紹介されていて、興味深く読み進めることができ、歴史の流れがつかみやすい。
地図帳	帝国書院	地図記号・方位・縮尺など、地図を読みとるための情報が充実している。「地図マスターへの道」の課題解決を通して、調べたり、考えたり、交流したりする学習を進めやすい内容となっている。自然災害が懸念される現代日本の課題に向き合う教材が充実している。
算数	大日本図書	各単元の終末に「たしかめもんだい」が用意されているほか、復習問題や応用問題など問題数が多く、学習活動を充実させることができる。児童が考え、それを発表する学習の流れが工夫されており、表現力の育成につながる内容となっている。実生活に即した題材が多く、主体的に課題に取り組みやすい。また、学んだことを生活などに生かしやすい内容となっている。
理科	教育出版	発達段階に応じた基礎的・基本的な内容が重視されており、内容の明確化が図られている。中学校での理科の学習内容につながるように、基礎的な実験方法や実験器具の使い方が丁寧に紹介されている。単元ごとに、実験結果から自分の考えを表現させる問いかけがあり、正しい科学的な思考・表現・判断を学ぶとともに、学習の内容を深めることができる。写真やイラストが鮮明で見やすく、学習内容に親しみやすい構成となっている。
生活	学校図書	児童が実際に活動している写真などが多く、学びやすく知識として習得しやすい工夫がなされている。単元ごとにクラス内での発表の機会が設けられており、児童同士の対話を通じて、思考力・判断力・表現力を育成することが期待できる。1つの活動について、どのようなやり方で取り組むのか、いくつかの手法が示されており、適切な活動への導きがなされている。

音 楽	教 育 出 版	多くのわかりやすいイラストや写真によって、主体的かつ即興的な音楽活動ができ、無理なく技能を身につけられる工夫がなされている。音楽に対する感性を育てるとともに音楽活動の基礎的な能力を培うための工夫がなされている。洋楽と和楽の双方から、様々な文化や伝統に親しむ学習が充実しており、表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに豊かな情操を養う内容になっている。
図 画 工 作	開 隆 堂	絵具や筆の使い方をはじめ、多くの参考例を示し、造形的なものの見方や考え方ができるように、わかりやすく具体的に編集されている。世界平和と未来への希望に対して、芸術の可能性に言及しており、そのためのグループ課題などが掲載されていて児童の精神的成長を促す内容となっている。
家 庭	東 京 書 籍	学習の流れがわかりやすい。日本の伝統文化が随所に紹介されており、海外研修を視野に入れながら日本の文化を身近に知ることができる工夫がなされている。インターネット注文など、現代的な買い物の仕方が紹介され、現代の生活に即した内容となっている。
保 健	東 京 書 籍	各単元において、導入時に自分の考えを書く活動が設定されており、主体的に学習に取り組むための工夫がなされている。イラストと文字のバランスが程よくて見やすい。「資料のページ」で、学習した内容をより深めることができる。学習の振り返りの場面が設定されており、的確にまとめができる。
英 語	教 育 出 版	挿絵や説明文などが見やすく配置されていて、疑問文や過去形など日本語と合わせた復習に適している。日本文化を考えさせる単元が多く、日本人としてのアイデンティティを大切にする本校の教育に相応しい。児童にとって身近な語彙が十分にあり、表現力を高めるために活用できる。Activity 教材も充実しており、使用しやすい設計となっている。
道 徳	日 本 文 教 出 版	児童の視点が教材に自然と向くような興味づけの工夫がなされている。登下校中の公共マナーや川越祭りの紹介など、本校に身近な教材が扱われている。「学習の手引き」のページが設けられており、「①問題をつかもう⇒②問題について考えよう」という流れで、教材文を深く考えられるように工夫されている。